

# 平成26年度 事業報告

## 法人全般

### 法人としての取組

#### ■学校教育法等の改正への対応

大学のガバナンス強化を目的とした法改正へ対応するため、諸規程整備ワーキンググループを設置し、学則等の諸規程の見直し・総点検を行いました。これにより各設置校から総長を廃止し、学園の総長と位置づけをおこないました。また教授会の位置づけとともに学長の権限を明確にしました。さらに、理事会の方針に基づく大学運営を行うことができる学長を選考するため新たに学園で学長選考規程を整備し、学園が設置する3大学で選考方法を統一しました。

#### ■懲戒関係規程の整備

コンプライアンスの充実・強化を図り、就業規則における懲戒処分の手続きを明確にするため、「学校法人加計学園職員の懲戒処分に関する規程」及び「学校法人加計学園懲戒処分の指針」を平成27年4月施行に向けて整備しました。

#### ■経費の削減

経費の節減を目的として、国内・国外の旅費規程の見直しにより日当・宿泊費等を改定し、平成27年度施行に向け準備を行いました。

#### ■三大学学長会議

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長及び事務局長等による会議を毎月1回定期的に行い、将来計画の策定や学校教育法の一部改正への学内諸規程の整備、労働契約法の改正に伴う非常勤講師等の問題について意見交換を行いました。

#### ■財務改善会議

各学校の代表者による財務改善会議を開催し、健全な財務体質を目指し開催予定としていましたが、代表者一同を会しての開催はできませんでしたが、進捗状況の確認と意識付けを行いました。

#### ■教職員の人材育成

##### ・事務職員の業務改善

限られた人的資源の有効活用と業務の効率化を図るため、専任・嘱託（再任用者）・契約・派遣・業務委託の業務の切り分けと役割の明確化を検討し、各部署の業務内容の洗い出しを行いました。

##### ・進化する自己点検・勤務考課

事務職員一人ひとりが、業務改善や連携の強化など活力ある組織を目指すべく、各部署・個人ごとに目標を持って取り組みます。今年度はワーキンググループを発足し、考課内容について見直しを行いました。

##### ・私立大学等経常費補助金研修会

補助金説明会の研修を受けた者が講師となり、7月11日（岡山）、14日（倉敷）にて、経常費補助金の知識の向上と制度の高い補助金申請を目指して、昨年度から変更された箇所、提出書類の注意事項等の説明を行いました。

##### ・改正労働契約法への対応

労働契約法の改正による、有期雇用労働者の雇用の在り方について、検討を行いました。

##### ・学校法人会計基準の一部改正

平成27年4月からの学校法人会計基準に対応した計算書の準備を進め、新会計基準に対応した予算書を作成しました。

## ・職員研修

平成25年度に研修の基盤づくりが一区切りしたことに伴い、新採用者については、マナー研修、社会人としての心得等について研修を行うことで社会人としての自覚、実務に必要な基礎スキルを習得しました。また、部長職以上を対象とした外部講師による「勤務考課」「組織を育てる管理研修」を実施し、管理職としてのコミュニケーションスキルやコーチングスキルについて理解し、組織の目標を達成させるための手法や考え方を習得しました。



テーマ/タイトル	研修対象
加計学園の職員として	新採用職員
新採用者研修会	新採用職員 (事務職)
設置校別研修会(大学編)	学園職員 (主に大学職員)
設置校別研修会(専門学校編)	学園職員 (主に専門学校職員)
セクシャルハラスメントについて	学園職員 (主に岡山理科大学)
セクシャルハラスメントについて	学園職員
セクシャルハラスメントについて	岡山理科大学職員
セクシャルハラスメントについて	岡山理科大学職員
人を育てるということ～教育者として、経営者として～	学園職員
勤務考課について	部長職以上 (事務職)
女性の仕事観	学園職員 (女性対象)
私立大学等経常費補助金について理解を含めるため(岡山会場)	学園職員
私立大学等経常費補助金について理解を含めるため(倉敷会場)	学園職員
加計学園職員としての自覚を再度確認するため	学園職員 御影インターナショナルこども園
English Cafe(英会話研修会) 職員のグローバル化・語学力向上を目指す (月2回開催)	学園職員
組織を育てる管理者研修	部長職以上 (事務職)
スポーツと大学について	学園職員
中長期計画	学園職員
異文化理解	1年～2年目事務職員 (岡山県内)
領土を如何にして守るのか	学園職員
言葉の力「コミュニケーション力が仕事を 変える」	学園職員
加計学園フィロソフィについて	玉野総合医療専門学校

## ■労務管理

・衛生委員会において教職員の就業上の衛生管理について検討を行い、次年度から義務化されるストレスチェックの導入について計画を行いました。

### ・リスク管理

自然災害等の緊急時対応リスク、業務リスク等の緊急時対応リスク以外のリスク、コンプライアンスリスク等、危機管理に関する基本方針について研究しました。

### ・災害対策

防災訓練、救急救命講習等を実施し、自然災害についての認識を深め、救助工具の設置、備蓄食糧等を含め災害に対する備えの充実を図りました。

### ・任期制、早期退職制導入

教員を対象とした任期制、教職員を対象とした早期退職制の導入について検討を行いました。

## ■環境整備事業

### ・省エネルギーの推進

平成21年度より省エネルギー推進委員会を定期的に開催し、省エネルギーに対する教職員の意識向上に努めています。引き続き今年度も原単位(エネルギー使用量を延床面積で除した数値)の1%削減目標を掲げ、節電に努めます。なお、昨年度は1.1%を削減し目標を達成しました。

### ・環境整備

学生生徒及び職員にとってより快適な学習・研究及び職場環境の提供に努めていきます。

学園中央ロータリー名誉理事長像の下、直径10mの敷地は岡山理科大学及び附属高等学校同窓会からの寄付により、寒椿、芝桜、ヤブラン、マツバギク、タマリユウ等四季折々の草花に囲まれたゾーンに変わりました。

## ■その他事業

### ・寄付金事業の強化

今年度に岡山理科大学は創立50周年、千葉科学大学は創立10周年を迎えました。また平成27年度には倉敷芸術科学大学が創立20周年を迎えます。その記念事業を行うにあたり広く寄付金を募集しました。

- ・加計勉基金の創設

創立50周年記念加計勉基金の創設について検討を行いました。

- ・「不滅の法燈」の併設

昭和51年10月に奇跡的に比叡山延暦寺から分灯を受けた「不滅の法燈」を50周年記念館1階に併設しました。「不滅の法燈」は深く広く学問を修めた最澄上人にあやかり「学問の灯」とも呼ばれています。



- ・包括連携協定

地域社会の発展と学術の振興等を目指し、関連機関との包括連携協定を推進します。

7月21日 韓国国立樹木園と「野外における共同研究と教育」に関する調印式が行われました。韓国での植物分類学の研究拠点である、韓国国立樹木園には、植物標本をはじめ、昆虫標本その他の標本を合計すると80万点以上が収納されており、岡山理科大学生物地球学部をはじめとする教育研究に役立てます。

11月10日 広島県安芸太田町と包括連携協定を締結しました。今後は、地域づくり

- ・まちづくりの推進、観光振興や産業振興において連携を図っていきます。

12月2日 津山市と包括連携協定を締結しました。

## 収益事業

### ■収益事業部

神戸市東灘区御影に開設した、御影インターナショナルこども園及びM-KISS（学童保育事業）の運営を行うことで、就学前後等のこどもの能力を引き出します。

### ■御影インターナショナルこども園

設置場所：神戸市東灘区御影2丁目15-27

園長：中西元子

定員：76名（平成26年度）

- ・当該年度の保育理念と目標

本園の教育方針は全人教育にあり、「しっかりとした根拠を持って自分の意見を述べることができ、世界共通語としての英語をツールとして身につけ、外国人とのコミュニケーションを図ることができる子どもを育てる」ことを掲げています。すなわち、次の10の子ども像を目指します。

①Inquirers 探求する子ども

②Knowledgeable 知識のある子ども

③Thinkers 考える子ども

④Communicators コミュニケーションができる子ども

⑤Principled 信念のある子ども

⑥Open-minded 心を開く子ども

⑦Caring 思いやりのある子ども

⑧Risk-takers 挑戦する子ども

⑨Balanced バランスのとれた子ども

⑩Reflective 振り返りができる子ども

- ・当該年度の教育活動計画

0-1歳児については情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行います。1歳児からは石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養いま

す。2歳児においては前述の保育内容に加え、歌、体操、絵本読み聞かせなどについて積極的に英語を使った保育を行います。3歳児からは英語イマージョンプログラムを開始します。専任の担当者がクラスの達成状況に応じて日々作成したプログラムに沿って、英語ネイティブ教員と日本人保育士がペアでクラスを運営します。卒園時に Cambridge Exam Starters の受験を目指し、達成度を確認しながら進めます。

・地域への貢献

月1回程度、園庭開放日を設け、ハロウィンパーティなどの企画催しを行いました。また、地域の自治会と連携し、老人会との交流を行いました。



## ■M-K I S S

定 員：30名（小学校1-2年生）

・当該年度の教育目標

①イマージョンを核とした英語教育、石井式漢字教育及び立腰教育によって日本人としてのアイデンティティを持った真の国際人の素養を育てます。

②安心できる放課後支援の場を提供します。

・当該年度の教育活動計画

①英語イマージョンアクティビティ：英語ネイティブ教員と様々なジャンルの活動を英語で行います。

②石井式漢字教育：石井式漢字教育によって、国語教育の礎を養います。

③宿題支援：小学校からの連絡帳を確認し、スタッフが宿題指導にあたります。

④プリント学習：教科書の内容に沿ったプリントを使用して国語と算数の復習を行います。

## 特命事業

### ■特命事業推進

学校法人の事業活動の受注及び代行業務を行うことで快適な環境整備、事業の効率化を図り、学生・生徒のインターンシップの場として積極的に活用し、教育研究活動に貢献しました。

## 国際交流関係

### ■教育交流協定校との交流プログラム

本学園は現在、国際19カ国70校の海外高等教育機関と教育交流協定を締結し、学生、教職員の交換、留学生やインターンシップ生受け入れなど多彩な国際交流プログラムを行っています。

なお、既に四半世紀継続しているアメリカ、ブラジル学生研修団に対して岡山での最終日に岡山理科大学スカイテラスにてフェアウエルパーティーを開催しました。研修団や地域住民の方々、ホストファミリー、学園関係者など500名以上が参加し、在籍留学生による中国、韓国、スリランカ、ネパール、ベトナムなどの国際屋台が出店しました。

### ■第四回加計学園杯日本語弁論国際大会

第四回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区予選を8～10月に9カ国計13会場にて開催しました。これら予選で選抜された13名の出場者による決勝大会を11月28日(金)に岡山理科大学にて開催し、出場者は「日本語と私」について熱弁し、中国北京市の李億成さんが優勝しました。

### ■第五回加計杯日本語弁論大会

学園設置校に在籍している留学生による弁論大会の決勝を11月8日(土)に倉敷芸術科学大学にて開催し、中国、韓国、スリランカ、マレーシア、ベトナムなどの国々の留学生が出場し、スピーチを行いました。

### ■海外支局長会議

5月23日に開催し、千葉科学大学創立10周年記念式典にも参加しました。その他、年に数回海外支局長TV会議を開催し、勉強会・報告会を通じて、海外支局長同士の連携を深め、情報交換を行いました。

本年度より、新たに2名の海外支局長(韓国、パキスタン)と中国総支局長補佐が着任しました。

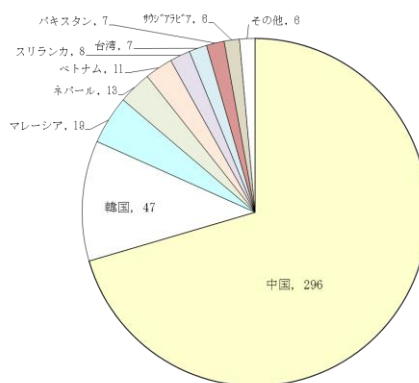
11月27日には平成26年度秋期海外支局長会議を、29日に海外支局長勉強会を開催しました。

### 教育交流協定校との交流プログラム

国名	計画	予定
アメリカ	受入:ライト大学仕事体験生4名(岡山理科大学) 受入:フィンドリー大学仕事体験生2名(千葉科学大学)	4~3月
韓国	受入:湖西大学単位互換履修生4名(岡山理科大学3名、倉敷芸術科学大学1名)	4~3月
台湾	受入:致理技術学院科目等履修生6名(岡山理科大学4名・倉敷芸術科学大学5名)	4~2月
アメリカ	受入:フィンドリー大学学生訪日研修団7名 受入:ライト大学学生訪日研修団7名	6.30~7.23
ブラジル	受入:パラ連邦大学3名・パラカトリカ大学10名訪日研修団	6.30~7.23
台湾	受入:致理技術学院学生研修団21名	5.28~6.6

タイ	受入:泰日工業大学15名	7.25~7.29
韓国	受入:江南スカイ学院訪日文化研修団9名	7.26~8.5
韓国	受入:慶一学園生徒研修団35名	7.28~8.6
ブラジル	派遣:パラ連邦大学・パラカトリカ大学へ学生研修団1名(千葉科大1名)	8.12~9.5
アメリカ	派遣:フィンドリー大学へ学生研修団9名(理大3、芸科大3、千葉科大2、芸科大引率1)	8.12~9.5
アメリカ	派遣:ライト大学へ学生研修団8名(理大4、芸科大1、千葉科大2、理大大引率1)	8.13~9.7
韓国	派遣:湖西大学へ学生研修団1名(理大1)	8.22~8.31
台湾	派遣:致理技術学院へ学生研修団9名(理大4、千葉科大4、千葉科大引率1)	8.26~9.4
中国	受入:河南城建学院来学者5名	10.6~10.8
アメリカ	受入:ワテル・ランゲージ・アカデミ研修団17名	11.11~14
中国	受入:江蘇省無錫堰橋中学研修団43名	12.10
韓国	受入:全南女子商業高校生徒研修団17名	1.20~1.21
韓国	受入:正明高校生徒研修団22名	1.27~1.30
韓国	受入:木洞高校生徒研修団30名	2.8~2.11

### ■国別留学生内訳 (平成26年5月1日現在)



総数: 420名

■海外交流協定校（平成27年3月31日現在）

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求实職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院、河南城建学院	14校
	（留学生募集に関する提携校） 内蒙古智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、成都瀨川日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、西南交通大学外語学院国際項目部、深圳職業技術学院、明正日本語学校、南京卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、長沙明照日本語専修学院、吉林動画学院、他	(31校)
韓国	慶一学園、金剛学園（永同大学、亨硯高校）、鶴山学園（東ソウル大学）、金龍学園（徳園女子高校、徳園芸術高校）、桂林学園（正明高校）、清錫学園（清州大学）、純心教育財団（純心高校）、湖西学園（湖西大学）、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校、礼ーデザイン高等学校	15校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学	5校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バールカウィッダヤーラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
タイ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	2校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニョス校、フィリピン日本語文化学院	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
コンゴ民主共和国	高等技術大学	1校
マレーシア	マラ工科大学医学部	1校
モンゴール	モンゴル科学アカデミー古生物学研究センター	1校

## 組織

4月1日付で、収益事業部を新設しました。  
今後、学園の新規事業に対応していきます。

### ■加計学園理事・監事評議員概況

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	7	3	10
監事	2		2	2
評議員	23～32	28	4	32

(平成26年5月1日現在)

### ■役員について

平成26年4月1日 : 土井章理事、越宗孝昌理事就任

平成27年3月31日 : 土井章理事退任

## 学園の概況

### ■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年9月 学校法人加計学園認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制） 初代校長に、神崎栄一郎就任
- 昭和39年1月 岡山理科大学設置認可
- 2月 岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校と改称
- 4月 岡山理科大学開学（理学部） 初代学長に、加計勉就任
- 昭和42年4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置  
岡山理科大学附属高等学校第3代校長として、中尾寿夫就任
- 昭和50年4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制）初代校長に、中尾寿夫就任
- 昭和51年4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校と改称
- 昭和53年4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和55年4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任  
岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任  
岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として、片山誠二就任

	7月	寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に、加計勉就任
昭和59年	4月	岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
昭和61年	4月	岡山理科大学工学部設置
		岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任
		岡山高等建築専門学校を <b>岡山理科大学専門学校</b> と改称
平成2年	4月	岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任
		岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
平成4年	1月	岡山理科大学附属高等学校第6代校長として、加計晃太郎就任
	4月	岡山理科大学附属高等学校第7代校長として、渡辺己巳生就任
平成6年	12月	倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に、谷口澄夫就任
平成7年	4月	<b>倉敷芸術科学大学</b> 開学
平成9年	4月	岡山理科大学総合情報学部を増設
	12月	玉野看護福祉総合専門学校設置認可
平成10年	4月	<b>玉野看護福祉総合専門学校</b> を開校 初代校長に、金政泰弘就任
		岡山理科大学附属高等学校第8代校長に、三木輝知就任
		岡山理科大学専門学校第3代校長に、村上侑就任
平成11年	4月	倉敷芸術科学大学第2代学長に、土井章就任
		倉敷芸術科学大学大学院開設
平成12年	4月	倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更
		岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
平成13年	1月	学校法人加計学園第2代理事長・総長に、加計晃太郎就任
	4月	岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
		倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置
		玉野看護福祉総合専門学校を、 <b>玉野総合医療専門学校</b> に変更
		岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
	9月	岡山理科大学附属中学校設置認可
平成14年	4月	倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
		岡山理科大学附属高等学校第9代校長として、北尾正幸就任
		岡山理科大学専門学校第4代校長として、逢坂一正就任
		岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
平成15年	4月	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）を設置
	11月	千葉科学大学設置認可
平成16年	3月	倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
	4月	岡山理科大学第6代学長に、宮垣嘉也就任
		倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
		倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
		倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
		<b>千葉科学大学</b> 開学 初代学長に、平野敏右就任
		<b>倉敷芸術科学大学専門学校</b> 開校 初代校長に、岡本繁通就任
平成17年	4月	倉敷芸術科学大学第3代学長に、添田喬就任
		岡山理科大学附属高等学校第10代校長に、橋爪道彦就任
		岡山理科大学附属中学校第2代校長に、新倉正和就任



- 岡山理科大学専門学校第5代校長に、圓堂稔就任  
玉野総合医療専門学校第2代校長に、岡田茂就任
- 平成19年4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に、伊藤敏夫就任
- 平成20年4月 岡山理科大学第7代学長に、波田善夫就任  
千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科を設置  
倉敷芸術科学大学専門学校を**倉敷 食と器 専門学校**に名称変更
- 平成21年4月 岡山理科大学専門学校第6代校長に、小林正文就任
- 平成22年3月 倉敷芸術科学大学国際教養学部を廃止
- 平成22年4月 千葉科学大学第2代学長に、赤木靖春就任  
玉野総合医療専門学校第3代校長に、高井研一就任  
倉敷 食と器 専門学校第3代校長に、川上雅之就任  
千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置
- 平成23年4月 倉敷 食と器 専門学校第4代校長に、亀井秀人就任  
10月 倉敷芸術科学大学第4代学長に、唐木英明就任
- 平成24年4月 岡山理科大学附属高等学校第11代校長に、宮垣嘉也就任  
岡山理科大学附属中学校第3代校長に、位田隆久就任  
岡山理科大学専門学校第7代校長に、村岡正就任  
岡山理科大学生物地球学部設置  
倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置  
千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4年制一貫）を設置
- 平成24年7月 千葉科学大学大学院薬学研究科について、薬学科（4年制）を基礎とした薬学専攻修士課程を廃止
- 平成25年3月 倉敷 食と器 専門学校閉校
- 平成26年4月 倉敷芸術科学大学芸術学部デザイン学科をデザイン芸術学科に名称変更  
倉敷芸術科学大学生命科学部生命動物科学科を動物生命科学科に名称変更  
倉敷芸術科学大学芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科、生命科学部健康医療学科募集停止  
倉敷芸術科学大学別科 調理師別科、製菓衛生師別科募集停止  
千葉科学大学看護学部設置  
認可外保育所 御影インターナショナルこども園 開園  
倉敷芸術科学大学第5代学長に土井章就任
- 5月 加計学園、中国 河南城建学院と教育交流協定締結
- 7月 加計学園、中国 国立樹木園と野外における共同研究と教育に関する覚書締結
- 10月 岡山理科大学附属高等学校全日制課程教育学科設置認可
- 平成27年3月 倉敷芸術科学大学別科調理師別科、製菓衛生師別科を廃止  
千葉科学大学薬学部動物生命薬科学科を廃止

■設置校概況

平成26年5月1日現在  
(単位：人)

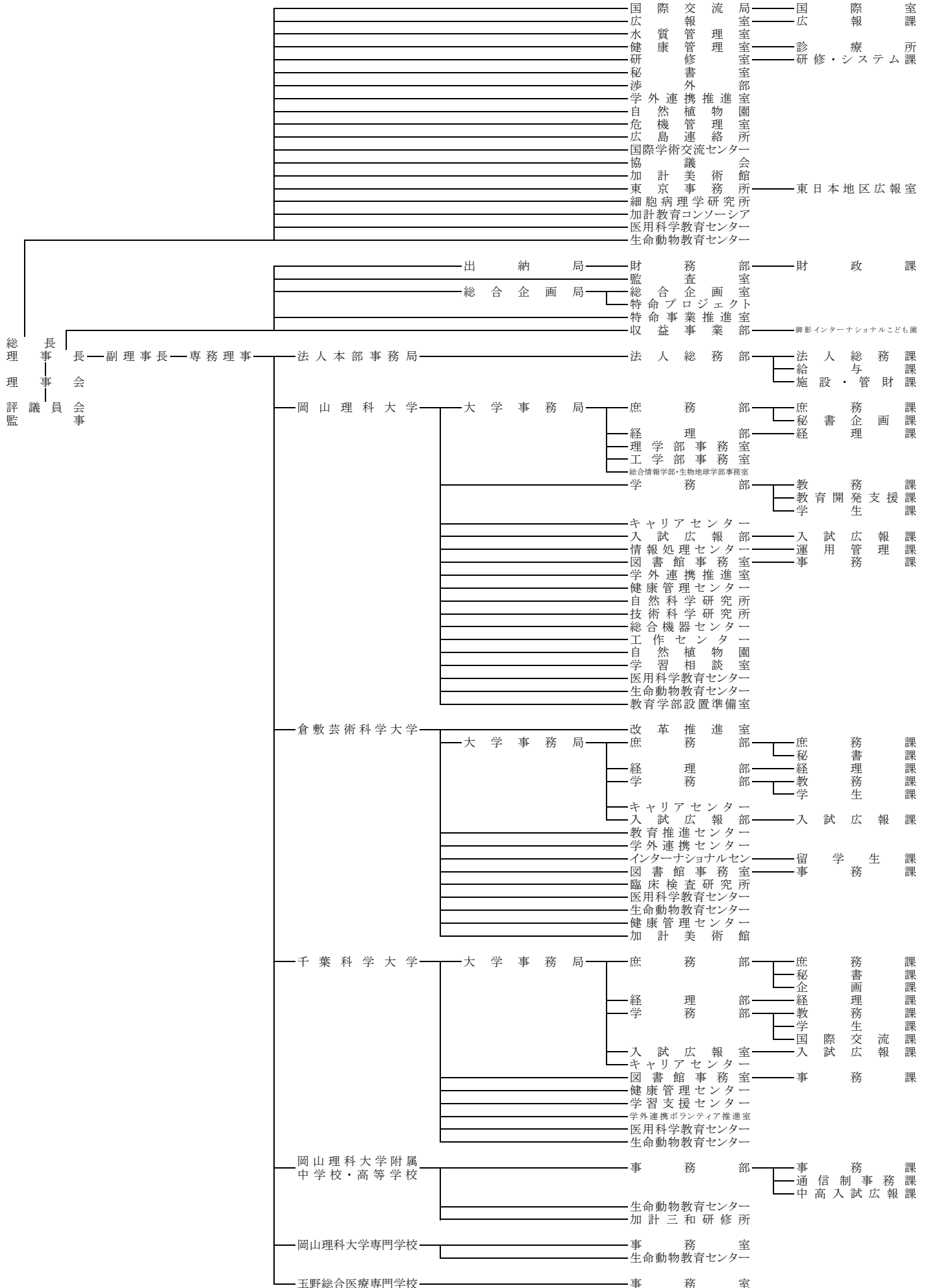
区 分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
<b>岡山理科大学</b> (岡山市北区理大町1-1)	<b>5,504</b>	<b>6,173</b>	270	200	470
大学院	384	220		(本部) 88 (理大) 112	
理学研究科	191	115			
工学研究科	147	74			
総合情報研究科	46	31			
学部	5,120	5,953			
理 学 部	2,080	2,473			
工 学 部	2,010	2,258			
総合情報学部	710	846			
生物地球学部	320	376			
<b>倉敷芸術科学大学</b> (倉敷市連島町西之浦2640)	<b>2,042</b>	<b>1,569</b>	106	63	169
大学院	126	51			
芸術研究科	52	21			
産業科学技術研究科	44	23			
人間文化研究科	30	7			
学部	1,796	1,508			
芸術学部	419	342			
産業科学技術学部	398	209			
生命科学部	979	957			
大学院 (通信制)	120	8			
芸術研究科 修士課程	20	2			
産業科学技術研究科 修士課程	40	0			
人間文化研究科 修士課程	60	6			
学部(通信教育課程)	0	2			
産業科学技術学部(通信教育課程)	0	2			
<b>千葉科学大学</b> (千葉県銚子市潮見町3)	<b>2,283</b>	<b>1,810</b>	119	53	172
大学院	63	29			
薬科学研究科	44	13			
危機管理学研究科	19	16			
学部	2,220	1,781			
薬学部	940	698			
危機管理学部	1,200	986			
看護学部	80	97			
<b>岡山理科大学附属高等学校</b> (岡山市北区理大町1-1)	<b>2,100</b>	<b>1,382</b>	74	21	95
全日制	1,500	1,160			
通信制(1~3年定員:600名)	600	222			
<b>岡山理科大学附属中学校</b> (岡山市北区理大町1-1)	<b>240</b>	<b>166</b>	20		20
<b>岡山理科大学専門学校</b> (岡山市北区半田町8-3)	<b>490</b>	<b>392</b>	12	11	23
工業専門課程(建築)	120	101			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程(動物看護, トリミング, ドッグ, アグ)	370	291			
<b>玉野総合医療専門学校</b> (玉野市築港1丁目1-20)	<b>560</b>	<b>455</b>	31	8	39
医療専門課程(保健看護, 理学療法, 作業療法)	480	420			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	35			
合 計	<b>13,219</b>	<b>11,947</b>	632	356	988

※別科、専攻科等除く

学校法人 加計学園 法人本部	収容定員	在園者数	こども園職員
収益事業 (御影インターナショナルこども園)	76	30	(5)

( ) は本部職員内数

■事務組織図（平成26年5月1日）



## 財務関係

### ■資金収支計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,720,354,389
手数料収入	297,713,732
寄付金収入	391,521,102
補助金収入	2,397,900,757
資産運用収入	170,361,466
資産売却収入	120,000
事業収入	177,095,281
雑収入	684,243,573
借入金等収入	2,770,450,000
前受金収入	2,419,458,000
その他の収入	2,321,789,610
資金収入調整勘定	△ 3,199,060,276
前年度繰越支払資金	20,026,687,008
計	44,178,634,642

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,277,425,233
教育研究経費支出	3,785,268,869
管理経費支出	1,688,047,858
借入金等利息支出	101,495,536
借入金等返済支出	1,068,645,000
施設関係支出	3,950,201,208
設備関係支出	548,989,293
資産運用支出	583,639,209
その他の支出	2,252,589,934
資金支出調整勘定	△ 523,935,397
次年度繰越支払資金	19,446,267,899
計	44,178,634,642

### ■消費収支計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	15,720,354,389
手数料	297,713,732
寄付金	471,579,538
補助金	2,397,900,757
資産運用収入	170,361,466
資産売却差額	119,998
事業収入	149,885,218
雑収入	684,243,573
帰属収入合計	19,892,158,671
基本金組入額合計	△ 135,813,736
消費収入の部合計	19,756,344,935

消費支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費	11,493,054,480
教育研究経費	5,520,737,352
管理経費	2,138,414,249
借入金等利息	101,495,536
資産処分差額	126,983,907
徴収不能引当金繰入額等	14,503,081
消費支出の部合計	19,395,188,605
当年度消費収入超過額	361,156,330
前年度繰越消費支出超過額	14,878,378,881
基本金取崩額	255,674,285
翌年度繰越消費支出超過額	14,261,548,266

■貸借対照表（平成27年3月31日）

資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定資産	61,913,185,658
有形固定資産	56,126,263,412
その他の固定資産	5,786,922,246
流動資産	21,319,536,270
資産の部合計	83,232,721,928

負債の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定負債	13,433,252,456
流動負債	4,035,346,261
負債の部合計	17,468,598,717

基本金の部 (単位：円)

科 目	金 額
基本金の部合計	80,025,671,477

消費収支差額の部 (単位：円)

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 14,261,548,266
消費収支差額の部合計	△ 14,261,548,266
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	83,232,721,928

■財産目録（平成27年3月31日）

(単位：円)

科 目	金 額
<b>一資産額</b>	
(一) 基本財産	60,718,533,464
1. 土地	15,846,276,024
借地権	388,140,000
2. 建物	25,874,690,133
(1)校舎	20,355,563,767
(2)図書館	342,273,579
(3)体育館	2,226,261,406
(4)寄宿舎	361,635,124
(5)倉庫	19,841,121
(6)その他	2,569,115,136
3. 建設仮勘定	3,437,460,600
4. 構築物	1,142,465,661
5. 図書	6,785,976,875
6. 教具・校具・備品	3,004,666,319
7. 車両運搬具	34,727,800
8. 積立金	2,004,130,052
9. 特定資産	2,200,000,000
(二) 運用財産	22,514,188,464
1. 預金、現金	19,446,267,899
2. 出資金	94,859,400
3. 有価証券	960,629,833
4. 未収金	775,786,625
5. 仮払金	14,004,034
6. 差入保証金	125,105,170
7. 前払金	121,092,862
8. 貯蔵品	1,755,017
9. 収益事業元入金	574,687,624
10. 長期貸付金	400,000,000
合 計	83,232,721,928
<b>二負債額</b>	
1. 固定負債	13,433,252,456
(1)長期借入金	9,363,612,000
(2)学校債	2,430,000
(3)退職給与引当金	4,067,210,456
2. 流動負債	4,035,346,261
(1)短期借入金	545,250,000
(2)学校債	1,770,000
(3)未払金	455,239,036
(4)前受金	2,419,458,000
(5)預り金	602,796,838
(6)仮受金	10,832,387
合 計	17,468,598,717

## ■財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	
分類	比 率	算式 (×100)				
貸 借 対 照 表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△15.9%	△17.0%	△18.3%	△17.1%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.5%	89.8%	89.8%	88.7%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	92.6%	89.7%	91.0%	94.1%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	76.9%	75.6%	77.3%	78.2%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	491.0%	542.8%	473.7%	528.3%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	907.1%	917.2%	830.3%	803.7%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	21.6%	20.1%	19.9%	21.0%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	18.8%	17.3%	16.9%	18.1%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	73.6%	74.0%	73.1%	72.9%
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	71.4%	58.2%	59.7%	57.8%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	30.4%	28.8%	29.3%	27.8%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	10.0%	8.6%	9.5%	10.8%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	113.3%	96.6%	100.6%	97.5%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	145.5%	120.6%	124.8%	123.4%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	77.9%	80.1%	80.6%	79.0%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.8%	0.4%	0.5%	2.4%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	14.5%	13.5%	11.6%	12.1%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.2%	7.4%	4.4%	0.7%

## ■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		
	経常費補助金	大型機器補助金	G P等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	合計
岡山理科大学	719,967	42,249	17,363	2,150	2,384	784,113
倉敷芸術科学大学	347,419	24,316	23,900		133	395,768
千葉科学大学	334,133	18,170	16,772	808	419,295	789,178
岡山理科大学附属高等学校				5,880	335,617	341,497
岡山理科大学附属中学校					63,009	63,009
岡山理科大学専門学校					252	252
玉野総合医療専門学校					24,083	24,083
合計	1,401,519	84,735	58,035	8,838	844,773	2,397,900

①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

## ■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	30 件	30 件	48 件	89,903 千円
理学部	13	8	22	48,763
工学部	11	16	13	18,460
総合情報学部		1	8	14,170
生物地球学部	3	2	4	7,410
附属施設	3	3		
その他			1	1,100
倉敷芸術科学大学	7	5	10	11,750
芸術学部	3	2	4	3,900
産業科学技術学部	2	3	3	1,690
生命科学部	2		3	6,160
千葉科学大学	9	10	14	55,521
薬学部	6	10	8	19,110
危機管理学部	3		4	34,071
看護学部			2	2,340
合計	46	45	72	157,174